

文学部A方式I日程・経営学部A方式I日程・人間環境学部A方式

## 3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政 治 ・ 経 済	2～21	日 本 史	22～33	世 界 史	34～51
地 理	52～61	数 学	62～64		

## 〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学は志望学部・学科によって解答する問題が決まっている。問題に指示されている通りに解答すること。指定されていない問題を解答した場合、採点の対象としないので注意すること。なお、以下の注意事項も参照すること。
  - ・ 解答を導く途中経過も書くこと。
  - ・ 解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
  - ・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
  - ・ 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については、以下の注意事項を読みなさい。

## マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

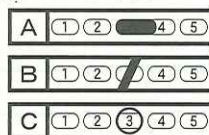
## 記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

# (世界史)

〔I〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

第二次世界大戦中に日本軍占領下に置かれた東南アジアでは、日本が敗戦すると連合国軍の部隊が次々と進出した。各地域では、植民地からの独立を求めてきた人びとが独立運動や社会変革の動きを活性化させたが、宗主国はこれらの地域を引き続き植民地として維持しようとし、ときには軍事介入をおこなった。

ビルマは1942年から1945年まで日本軍の占領下に置かれ、日本敗戦後、イギリスが植民地支配を復活させた。しかし  がイギリスと交渉を重ね、1948年にビルマ連邦共和国として独立した。

オランダ領東インドでは、日本の敗戦後、ただちに  がインドネシア共和国の成立を宣言した。オランダはこれを認めず、大規模な軍事介入をおこなったが、1949年にニューギニア島西部を除いてインドネシアに主権を委譲した。 から政権を奪取したスハルトは、非民主的な政治体制のもと経済発展を進めた。

フランス領インドシナでは、第二次世界大戦中に  が武装抵抗運動をおこなっていたが、日本の敗戦後  が独立宣言を出した。しかし、フランスがベトナムの再植民地化を目的に軍事進攻し、第一次インドシナ戦争が始まった。1949年に中国で共産党政権が樹立されると、アメリカは東南アジアの共産化を強く懸念し、トンキン湾事件を口実に北ベトナムを爆撃、さらに1965年に北ベトナムに対して大規模爆撃を開始したことで戦争はベトナム全土に拡大し、長期化した。

このように、第二次世界大戦後の東南アジアは、植民地下で形成された経済構造からの脱却だけでなく、第二次世界大戦や宗主国との戦争でもたらされた経済や社会の疲弊からの復興が大きな課題となり、その後の国家建設や外交関係に大きな影響を与えた。さらに、冷戦が始まると、東南アジアにも米ソ両陣営の対立関係が持ち込まれ、各国はそのなかで国家建設を進めざるを得なかった。アジア

・アフリカ会議を契機として、東南アジア諸国はこれら諸問題に対する取り組みを相互に協力しつつ進めていくことになった。

問1 下線部(1)について、つぎの文の空欄  ~  に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ビルマ人がヒマラヤ方面から移動し、  川流域に姿を現したのは9世紀以後である。彼らは  川の中流域に城砦を築き、下ビルマの  人を支配して勢力を拡大し、11世紀半ばには最初の統一王朝である  朝を作った。  朝は  人などから  仏教を受容した。13世紀後半には、元軍の攻撃を受け、以後ビルマではいくつかの勢力が対立して混乱が生じたが、16世紀前半に  朝が全土を統一した。同朝はベンガル湾での交易によって繁栄したが、18世紀にはアラウンバヤー朝がこれに代わった。同朝は、  人の勢力を抑え、さらに隣国の  朝を滅ぼしたが、対外戦争による民衆の疲弊もあって弱体化し、東南アジアの植民地化を積極的に進めたイギリスとの間に3回の戦争をおこなって滅亡した。イギリスはビルマをインドに併合し、  川下流のデルタ地帯の開発を進め、イギリス統治下のビルマは東南アジアで代表的な  の輸出地域となった。ビルマでの  の栽培のように、単一の商品作物を大農場で経営することを  経営と言うが、地元住民は安価な労働力や土地を供出させられると同時に、作物の価格が世界の市場価格に左右され、現地社会は大きな変容を迫られた。

[語群]

- |          |            |             |
|----------|------------|-------------|
| a アユタヤ   | b アンコール    | c イラワディ     |
| d 強制裁培制度 | e クメール     | f 米         |
| g コンバウン  | h 砂糖       | i シュリーヴィジャヤ |
| j 上座部    | k 染料       | l 大乘        |
| m チャンパー  | n 天然ゴム     | o トウンゲー     |
| p パガン    | q プランテーション | r 菩薩信仰      |
| s メコン    | t モン       | u ライヤットワーリー |



## 世界史

問2 下線部(2)について説明したつぎの文章のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a この島の先住民はオーストロアジア語族に分類される。
- b この島は1884年にオランダが西部を占領し、イギリスとドイツが東部を分割占領した。
- c この島の東部はビスマルク諸島とともに1975年にイギリス連邦の一部として独立した。
- d この島は独立国となり、現在はASEANの構成メンバーとなっている。

問3 本文中の空欄  ～  には人物名が入る。それぞれの人物について以下の問いに答えよ。

- ①  に関連して、つぎの文の空欄  ～  に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

は、ランゲーン大学在学中に学生のストライキを指導し、卒業後に「われらビルマ人協会」を正式名称とする  党に加わった。

党が結成された1930年代前半は、1930年に民族運動指導者

が農民反乱を起こすなど、ビルマ人としての民族感情と独立の気運が高まっていた。イギリスは1935年に  を制定してビルマと

インドの分離を決定し、1937年ビルマはインドから完全に分離した。だが、なおもイギリス国王が任命するビルマ総督の直轄下に置かれたため、

党は完全独立を求めて活動を活性化させた。  は1940年にその  党の書記長になった。

[語群]

- |           |            |         |
|-----------|------------|---------|
| a アンベードカル | b インド独立法   | c ウー=ヌー |
| d カーゾン法   | e サティヤーグラハ | f サヤ=サン |
| g 新インド統治法 | h タキン      | i ピブン   |
| j ブディ=ウトモ | k ムルデカ     |         |

- ②  に関連して、つぎの文の空欄  と  に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

は  を結成したが、1929年にはオランダ植民地当局に逮捕された。オランダ領東インドに石油や鉄鉱石などの鉱物資源を求めた日本は、1942年にジャワ、スマトラを占領して各地に軍政をしき、軍政への協力を求めて  から捕らえられていた民族独立運動の指導者を解放した。しかし日本軍による軍政は、言論の自由を制限し、結社など政治行動を禁止し、また日本への同化政策を推進するものであったため、住民のあいだの民族意識はむしろ高まった。日本の敗戦後、 はオランダ領西ティモールをその一部とするインドネシア共和国の大統領となり、東ティモールはポルトガル領として存続した。ポルトガルが植民地政策を放棄すると東ティモールは1975年に独立を宣言したが、 政権に取って代わっていたスハルト政権は、同地域に軍事侵攻し併合を宣言した。スハルト退陣後、東ティモールでは激しい独立闘争が続き、国際連合が  軍を派遣して、国連東ティモール暫定統治機構を設立させ、2002年に独立を果たした。

[語群]

- |             |             |
|-------------|-------------|
| a インドネシア共産党 | b インドネシア国民党 |
| c インドネシア人民党 | d 国連軍事監視    |
| e 国連平和維持活動  | f 多国籍       |
| g NATO      |             |

世界史

- ③ [ C ] に関連して、つぎの文の空欄 [ ア ] ~ [ ク ] に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

[ C ] は、フランス滞在中にレーニンの論稿を読んで感銘を受け、フランス共産党に入党、中国でも民族主義組織を結成した。そして1930年には、第二次世界大戦後にベトナム労働党と改称する組織 [ ア ] を結成し、インドシナ民族運動の中心的役割を果たした。

[ C ] は第二次世界大戦中に農民、労働者、民族資本家も参加する [ イ ] を指導し、反日・反仏武装闘争を展開した。日本が敗戦すると、1945年9月に [ ウ ] を建国、ハノイで独立宣言を発表した。しかしフランスは、 [ エ ] 年に阮朝のバオダイを元首とする [ オ ] を成立させ、 [ カ ] 年に始まっていた [ ウ ] との戦争を継続した。その後フランスは、ジュネーブ休戦協定を締結してインドシナから撤退し、 [ ウ ] と [ オ ] は北緯17度線を暫定的な軍事境界線として敵対行動を停止した。しかし、アメリカはジュネーブ休戦協定調印直後に、東南アジアで共産主義に対抗する軍事同盟として [ キ ] を成立させ、インドシナではフランスに代わって経済的、軍事的支援を通じて共産主義勢力の抑え込みと排除を進めた。すなわち、 [ オ ] の首相ゴ=ディン=ジエムを支援し、バオダイを追放させて [ ク ] を設立させ、ジュネーブ休戦協定が規定した総選挙実施の取り決めに一方的に破棄させた。

[語群]

- |                |        |        |            |        |
|----------------|--------|--------|------------|--------|
| a 1946         | b 1947 | c 1948 | d 1949     | e 1950 |
| f ANZUS        |        |        | g APEC     |        |
| h ASEAN        |        |        | i CENTO    |        |
| j SEATO        |        |        | k インドシナ共産党 |        |
| l 反ファシスト人民自由同盟 |        |        | m ベトナム共産党  |        |
| n ベトナム共和国      |        |        | o ベトナム国    |        |
| p ベトナム青年革命同志会  |        |        | q ベトナム独立同盟 |        |
| r ベトナム民主共和国    |        |        |            |        |

問4 下線部(3)に関連して、つぎの問いに答えよ。

- ① アジア・アフリカ会議に関連して、つぎの文の空欄  ～  
 に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つ  
 選び、その記号を解答欄にマークせよ。

アジア・アフリカ会議は、米ソ冷戦体制が、アジアでは朝鮮戦争やアメリカのインドシナ紛争への介入など「熱戦」という形で拡大し、地域間の緊張を高めていることを背景に、アジア、アフリカの新興諸国が民族自立や平和を求めて開催した。同会議は、 年の  によって開催が決定され、 で合意された平和五原則をもとにした平和十原則を発表した。このアジア・アフリカ会議は、さらにラテンアメリカ諸国や東ヨーロッパで独自の社会主義路線を進めるティトーが加わって、 年に開催された  につながった。

[語群]

- |              |             |                  |        |
|--------------|-------------|------------------|--------|
| a 1953       | b 1954      | c 1955           | d 1961 |
| e 1962       | f 1963      | g アジア＝アフリカ人民連帯会議 |        |
| h アフリカ諸国首脳会議 | i コロンボ会議    |                  |        |
| j ジュネーヴ四巨頭会談 | k チベット協定    |                  |        |
| l ネルー・周恩来会談  | m 非同盟諸国首脳会議 |                  |        |

- ② アジア・アフリカ会議で確認された平和十原則が作成される際に前提となったといわれる平和五原則について、そこに掲げられたものを下記の語群のなかからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

[語群]

- |            |               |
|------------|---------------|
| a 国際正義の尊重  | b 国連憲章尊重      |
| c 自衛権尊重    | d 集団防衛の排除     |
| e 積極的中立    | f 相互不可侵       |
| g 内政不干涉    | h 平等互恵        |
| i 平和的共存    | j 新旧植民地主義への反対 |
| k 領土・主権の尊重 |               |



## 世界史

- ③ アジア・アフリカ会議について説明したつぎの文章のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- a アジア・アフリカ会議は、日本を含む29カ国の参加を得て開催された。
  - b アジア・アフリカ会議は、植民地解放を目指した新植民地主義を世界に呼びかけた。
  - c アジア・アフリカ会議は、参加国の軍事独裁政権の停止を呼びかけた。
  - d アジア・アフリカ会議は、資本主義陣営、社会主義陣営に属さない国によって開催された。同会議は、両陣営と同程度の友好関係を保ちつつも中立を唱え、第三世界という言葉はこの会議でつくられた。



〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

宋代以降、とは、政治的には科挙合格者としての官僚、また経済的には新興の地主、さらに社会的には農工商<sup>(1)</sup>に対する読書人としての側面をもちあわせた儒教的教養をもつ社会的支配層のことを意味する。貴族に代わり官界に進出したは、学問・思想から美術・民間の文芸など広範囲に及び様々な影響を及ぼした。

による学問・思想への影響については、宋学があげられる。宋代に勃興した新しい儒学である宋学は、唐代の『五経正義』制定以降に展開されていた經典解釈を重視するに留まっている状況への反発から生まれたものであり、經典全体を哲学的に読み込み、宇宙万物の正しい本質にいたろうとするものであった。北宋のは宋学の祖とも称されており、儒学、仏教、道教の三教融合により宇宙生成過程の原理や、その作用の一部としての仁義を説いた。に共に学び、「二程」とも称される兄弟の兄であるは、宇宙の根本原理を理と名づけ、人間本来の心性によってこれを把握することを説き、弟のは兄の説を発展させるべく、理と氣の一致を説く理氣二元論をとなえ、兄と共に宋学の基礎づくりに貢献した。彼らは、層のあるべき姿を追求していたと考えられている。

彼らの学問は道学として総括されているが、南宋のは、この道学をさらに発展させ、朱子学と呼ばれる新しい儒学思想体系をつくりあげた。は、四書を儒学の根本經典として、格物致知、理氣二元論、性即理説、などを説いた。朱子学では、華夷、君臣、父子の区別を絶対視していたことから、独裁的な君主政治を支える理論として、その後長らく儒教の正統となり、日本、朝鮮、ベトナムにも大きな影響を与えた。

による美術面への影響としては、があげられる。これは、水墨や淡彩による自由な筆さばきにより、自らの自然観察によりつかんだ宇宙の理をうつしだそうとする画風であった。これは、当時の宮廷趣味に合致するように描かれた写実的で装飾的である院体画とは特色が大きく異なっていた。

官僚でありながら北宋第一の詩人であり、唐宋八大家の一人でもあった

## 世界史

も、この  としての作品を残している。この  は、神宗・王安石の改革に反対し、東坡に隠遁して創作した『赤壁の賦』を残していることでも有名である。また、同じ官僚の身でありながら、 は儒教的倫理観に基づく歴史書である『資治通鑑』を編纂した。

はまた <sup>(7)</sup> の名手でもあった。唐代の詩が形式や典拠を重視する上流階級中心の文学であったのに対し、 は音楽に合わせて歌うところから始まった文学形態であり、長短の句を交え、俗語も用いるなど、より庶民的な文学であった。これは宋代を代表する文学形態となったが、その流行の背景には、商業の発展によって都市の庶民層の生活が豊かになったことがあった。そして、この文学の庶民化は戯曲という文学形態を生み出していった。これは歌唱をともなって上演され、 と呼ばれたが、元代にその最盛期を迎えると、元曲と呼ばれるようになっていった。これらの新たな文学の隆盛にも  のような  の貢献は小さくなかった。

問1 空欄  について、この支配層を何というか。漢字3字で解答欄に記入せよ。

問2 空欄  について、臣下としての本分と忠節を明らかにして、君臣関係を正そうとする論を何というか。漢字5字で解答欄に記入せよ。

問3 空欄  について、この画風を何というか。漢字3字で解答欄に記入せよ。

問4 空欄  について、この文学形態を何というか。漢字1字で解答欄に記入せよ。

問5 空欄  について、この文学形態を何というか。漢字2字で解答欄に記入せよ。

問6 空欄  に当てはまる最も適切なものを下記の選択肢から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 公羊学    イ 訓詁学    ウ 東学    エ 陽明学    オ 考証学

問7 空欄  ~  に当てはまる最も適切な人名を下記の選択肢からそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 蘇秦    イ 程頤    ウ 司馬睿    エ 朱熹    オ 寇謙之  
 カ 蘇軾    キ 鄭成功    ク 司馬遷    ケ 鄭和    コ 孔穎達  
 サ 蘇洵    シ 程顥    ス 司馬光    セ 周敦頤    ソ 顧炎武

問8 下線部(1)の科挙について、皇帝自らがとりおこなう最終試験を何というか。最も適切なものを下記の選択肢から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 州試    イ 九品中正    ウ 省試  
 エ 進士    オ 殿試

問9 下線部(2)の北宋について、建国した趙匡胤は華北における五代のうち、どの王朝の将軍であったか。最も適切なものを下記の選択肢から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 後漢    イ 後唐    ウ 後周    エ 後梁    オ 後晋

問10 下線部(3)の南宋について、その首都はどこであったか。最も適切なものを下記の選択肢から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 開封    イ 泉州    ウ 臨安    エ 明州    オ 広州

問11 下線部(4)について、この性即理説に対して心即理説を唱えた南宋の儒学者は誰か。最も適切なものを下記の選択肢から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 王重陽    イ 王陽明    ウ 馬遠    エ 李贄    オ 陸九淵

## 世界史

問12 下線部(5)について、「華夷の別」が盛んに唱えられたのは、当時の国際情勢と無縁ではない。当時の国際情勢に関連する下記の①～⑥の記述について、正しいものを時間的に正しい順番で並べたものを下記の選択肢ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 遼の聖宗と宋との和約
- ② 西夏の景帝と宋との和約
- ③ 金による西夏の滅亡
- ④ 金による北宋の滅亡
- ⑤ チンギス=ハンによる金の滅亡
- ⑥ 燕京(現在の北京)の中都への改称

- ア ①→②→④→⑥      イ ①→⑥→②→③      ウ ②→①→④→⑤  
エ ②→④→③→⑤      オ ⑥→②→④→⑤

問13 下線部(6)について、唐宋八大家に数えられる人物の組み合わせとして正しいものはどれか。下記の選択肢から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 王安石・王維・韓愈・蘇轍      イ 欧陽脩・曾鞏・白居易・柳宗元  
ウ 王維・欧陽脩・杜甫・白居易      エ 韓愈・杜甫・白居易・柳宗元  
オ 王安石・欧陽脩・曾鞏・蘇轍

問14 下線部(7)について、この本と同じ叙述形式で記されている歴史書は何か。最も適切なものを下記の選択肢から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 『後漢書』      イ 『儒林外史』      ウ 『春秋』  
エ 『書経』      オ 『新唐書』



## 〔Ⅲ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

1914年6月のサラエヴォにおけるオーストリア皇位継承者 A の暗殺事件をきっかけに始まったヨーロッパ各国の対立は、その後の数ヶ月のあいだに世界的な規模の大戦争となり、またさらに4年以上におよぶ長期戦となった。これを第一次世界大戦と呼ぶ。

この戦争が世界大戦といわれるまでに拡大した理由は、いくつか考えられる。ひとつには、19世紀半ば以降、ヨーロッパ列強各国は世界各地において影響圏の拡大を試み、相互に衝突を繰り返したことがある。とくにドイツは皇帝ヴィルヘルム2世のもと B と呼ばれる積極的な海外進出政策をおこなったほか、海軍力の急速な増強をおこない、イギリスやフランスとのあいだに対立が生じた。また、各国は相互に同盟関係を結んでおり、その約束にしたがって連鎖反動的に戦争に参加することになった。さらに、当時は平和問題を協議する常設の国際会議が存在せず、各国の政府代表が集まって国際的緊張を緩和する場がなかったことも大戦拡大の理由として挙げられる。

いったん戦争が始まると、当初は中立であった諸国もつぎつぎに戦争に参加していった。なかには、やむなく戦争に巻き込まれた国もあれば、さまざまな事情や思惑から参戦に踏み切った国もあった。<sup>(4)</sup>永世中立国であった C は開戦時にドイツの攻撃を受けて占領され、また当初中立を唱えていた D はイギリス・フランスなど連合国側に立って途中から参戦した。

当時ヨーロッパ各国は世界各地に植民地・影響圏を保有していたので、それらの地域もまた本国の参戦により戦争に巻き込まれることになった。植民地・影響圏のなかには、本国の政策に協力することで自らの地位を本国に対して向上させようと考え、戦争に協力する者もいた。たとえば、イギリスの支配下で自治権の獲得を目指していたインドは、多くの兵士をヨーロッパの戦場に送った。また、<sup>(5)</sup>連合国側は、オスマン帝国内の E 人に対しては戦後の独立を含むさまざまな約束をおこなって反乱をうながした。<sup>(6)</sup>

つぎに戦争が長期化した理由を考えてみよう。ひとつは戦闘の経過そのものが当初想定されたような短期の決着を不可能にしてしまったからである。陸戦の主

## 世界史

戦場となったヨーロッパの西部戦線では、1914年9月の **F** の戦いでフランス軍が勝利した結果、ドイツ軍の進撃は阻止され戦線は膠着状態となった。そして、その後は双方ともに大きな破壊力を持つ新兵器を配備し、事態を打開しようと無謀な攻撃をしかけてはおびただしい人命や物資を犠牲にすることを繰り返した。そのため、各国は戦争を続けるために国内の人的物的資源を動員する体制を整える必要に迫られた。イギリスやフランスでは **G** が組織され、ドイツでは **H** の率いる軍部の強力な指導体制が成立するなど、主要参戦国がこぞってこうした体制づくりに成功を収めたことも、戦争が長期化した理由である。逆に、そのような体制を構築することに失敗したロシアでは、革命が起こって帝政は崩壊した。<sup>(8)</sup>

戦争が拡大し長期化する中で、しかし和平への動きが皆無であったわけではない。当初は各国とも自国の勝利を前提とした講和条件を掲げていたが、大戦後半になってようやくどの国にとってもそうした勝利は達成しがたいことが認識され、現実的な和平の提案が始まった。そのひとつがロシア革命後の1917年11月にソヴィエト政権が発表した **I** である。そこで唱えられた内容は、翌年1月にアメリカ大統領 **J** が打ち出した十四カ条の平和原則にも影響を与えた。<sup>(9)</sup>

問1 本文中の空欄 A ~ J に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つずつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

〔語群〕

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| a アラブ           | b アルメニア     |
| c ウィルソン         | d ヴェルダン     |
| e オランダ          | f 棍棒外交      |
| g 挙国一致内閣        | h 3C政策      |
| i 四月テーゼ         | j シュリーフェン   |
| k セオドア＝ローズヴェルト  | l 人民戦線      |
| m スイス           | n 「世界政策」    |
| o ヒンデンブルク       | p フランツ＝ヨーゼフ |
| q フランツ＝フェルディナンド | r ブルガリア     |
| s 「平和に関する布告」    | t ベルギー      |
| u マルヌ           | v ルーマニア     |

問2 下線部(1)に関連して、欧米列強が圧倒的な軍事力・経済力を背景にして世界各地に勢力圏を広げようとする動きを何と呼ぶか、その名称を解答欄に記入せよ。

問3 下線部(2)に関連して、大戦前の時期に世界各国が結んだ同盟関係について説明したつぎの文章のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a イギリスとフランスは1904年に協定を結び、モロッコにおけるフランスの権益とエジプトにおけるイギリスの権益を相互に承認した。
- b ドイツとオーストリアは、オスマン帝国とともに三国同盟を結成した。
- c イギリスとロシアは1907年に協定を結び、極東における両国の勢力範囲を定めた。
- d ドイツとの同盟関係を破棄したフランスは、ドイツ＝オーストリアに対抗する同盟をロシアと結んだ。

## 世界史

問4 下線部(3)に関連して、19世紀にヨーロッパで開催された国際的な会議について説明したつぎの文章のうち正しくないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 1840年のロンドン会議ではダーダネルス海峡およびボスフォラス海峡の自由航行を保障する内容の協定が結ばれた。
- b スイス人デュナンが中心となった運動の結果、1864年にジュネーヴで赤十字条約が結ばれた。
- c 1899年にハーグで開かれた第1回万国平和会議では、戦争に関する国際的なルールづくりや国際仲裁裁判所の設置が話し合われた。
- d 1906年にはアルヘシラス会議が開かれ、ドイツのモロッコへの野心はイギリスの反対により挫折させられた。

問5 下線部(4)に関連して、つぎの問いに答えよ。

- ① ドイツが1917年に開始した、ある戦術に対する反感が、アメリカ合衆国の参戦に大きな役割を演じた。その戦術の名称を解答欄に記入せよ。
- ② イタリアが連合国側に立って戦争に参加した背景には、オーストリア領のある地域に対するイタリアへの併合要求があった。その地域をイタリア側では何と通称していたか、その名称を解答欄に記入せよ。
- ③ 日本は中国におけるドイツ権益の獲得をねらって連合国側に立って戦争に参加した。中国におけるドイツの租借地の中心的な都市の名称を解答欄に記入せよ。



問6 下線部(5)に関連して、第一次世界大戦前後のインドの独立運動の動きについて説明したつぎの文章のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 大戦中に至るまで国民会議派はイギリスとの協調を前提とした独立運動を志した。
- b イギリスは、インドに暮らすヒन्दゥー教徒とムスリムの間を仲介し対話を促進することで、独立運動を押さえ込もうとした。
- c 大戦中にイギリスは、インド人の全面的な戦争協力を条件に、戦後ただちに独立を認めるという内容の宣言を発した。
- d 大戦後にイギリスが制定したローラット法やインド統治法は、抑圧的性格が強く、付与された自治権も限定的なものであった。

問7 下線部(6)に関連して、イギリスが一方でこの約束と矛盾する内容の約束をユダヤ人に対して与えていたことが、その後長期にわたることになる、ある国際的な問題が発生する原因となった。その問題の名称を解答欄に記入せよ。

## 世界史

問 8 下線部(7)に関連して、つぎの問いに答えよ。

- ① このような体制をととのえておこなわれる戦争のあり方を一般に何と呼ぶか、その名称を解答欄に記入せよ。
- ② このような体制は、国民が積極的に戦争に協力し、犠牲に耐えることを要求したため、国民の世論がより大きな政治的影響力を持つようになった。各国の大戦中から後の時期の政治状況について述べたつぎの文章のうち正しくないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。
  - a アメリカ合衆国では、1920年に憲法が修正され、全国で女性参政権が認められた。
  - b ドイツでは、戦争が長期化すると厭戦気分が次第に高まり、1917年に結成されたドイツ独立社会民主党も戦争協力に反対した。
  - c イギリスでは、1918年の選挙法改正により、はじめて女性に選挙権が与えられた。
  - d イタリアでは、大戦後の経済的混乱に乗じ、社会党を率いたムッソリーニが支持を集めるようになった。
- ③ 連合国の兵器工場となって軍需生産を支えたアメリカを中心に、戦後は大量生産された物資を大量に消費するシステムが大衆レベルまで浸透した。こうした社会を一般に何と呼ぶか、その名称を漢字6文字で解答欄に記入せよ。

問 9 下線部(8)に関連して、1917年のロシア革命について説明したつぎの文章のうち、正しくないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 戦況が不利になるなか、首都ペトログラードでの平和を求めるデモ行進に軍隊が発砲したことから、革命が始まった。
- b 食糧危機に対するデモやストライキをきっかけに、労働者と兵士たちのあいだにはソヴィエトという評議会を結成する動きが生まれた。
- c 皇帝退位後、ケレンスキー率いる臨時政府は戦争の継続を主張した。
- d レーニン率いるボリシェビキはソヴィエトに権力を集中することを主張した。

問10 下線部(9)に関連して、この平和原則の内容およびその後の展開を説明したつぎの文章のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a ソヴィエト政権がロシア帝国政府の秘密外交を引き継いだため、それを批判して秘密外交の廃止を唱えた。
- b 大戦で膨大な死傷者が出る原因となった大量破壊兵器の禁止を主張した。
- c 国際平和機構の創設をうたっており、それにしたがって国際連盟が設立されたが、アメリカは加盟しなかった。
- d 民族自決の原則は、大戦後のヴェルサイユ体制において世界中で適用されることになった。